



平養・ペテカリ CS 通信 NO.1



令和 6 年 1 月 16 日

平取養護学校学校運営協議会



2023 年、平取養護学校学校運営協議会スタート！

今年度から、本格的に学校運営協議会がスタートしました。初年度は、本校・分校を知ってもらうための年と考え、第 1 回目（R5.7.10）の運営協議会では、本校・分校の令和 5 年度の学校経営方針及びグランドデザインについて校長から説明し、学校の現状や取組を紹介し、“平取養護学校”を知ってもらう機会としました。また、授業見学を行い、児童生徒の実態や先生方の児童生徒に対する関わり方を実際に見ることで、特別支援学校に対する理解を深めました。

第 2 回目（R5.11.27）は分校で開催し、同様に授業の様子を参観してもらったあと、本校・分校それぞれの令和 5 年度の実践についての中間報告をしました。本校は、進路指導における今年度の取組、分校では、高等部で新たにスタートした「静内デュアル・システム（地域産業と連携した作業学習）」について、成果や課題等を報告しました。

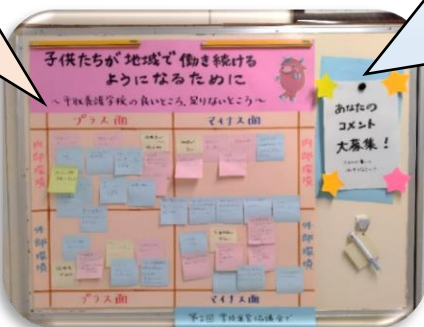
また、第 2 回目の協議会では、本校分科会と分校分科会に分かれて、「平取養護学校（本校・分校）に期待すること」「地域、学校の Win Win な取組について」というテーマに沿って、意見交換を行いました。来年度の本格的な「実践」に向けて、貴重な御意見をいただくことができました。

<本校の良いところ>

- ・生徒や先生方が明るい。
- ・挨拶がある。
- ・先生方のアイデアが感じられる。
- ・保護者が協力的。
- ・農福連携に力を入れている。
- ・平取町民があったかい。理解がある。



本校分科会の様子



<本校の足りないところ>

- ・施設が古い。夏は暑く冬は寒い。
- ・寄宿舎（自立生活の訓練に大切）が狭い。
- ・就労に向けての経験が少ない。
- ・町民と交流する機会が少ない。
- ・なかなか訪問しづらい。
- ・活動が町民に伝わっていない。



<地域・保護者のニーズ>

- ・地域に学校の存在感を示してほしい。（情報発信、アピール）
- ・地域に貢献できる人間の育成。
- ・地域とつながる活動を増やし、認知度を高めることで、障がいに対する理解や受容が進む。



分校分科会の様子



<学校のニーズ>

- ・地域に恩返しをしたい。
- ・子ども達の可能性を知ってほしい。
- ・障害の程度に関わらず、作業を通して地域に貢献できないか。
- ・地域の産業と連携して、デュアルシステムの業種の幅を広げたい。



